

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大舘宗徳
(JASDAQ・コード 6628)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏
電 話 06-6226-7343

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、平成29年6月29日、近畿財務局へ提出いたしました平成29年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備がある旨を記載いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

以下に記載した決算・財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。従って、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効でないと判断しました。

当社は、当社の監査人より当事業年度の財務報告に修正が必要となる重要な事項について指摘を受けました。具体的には、連結財務諸表における販売代理店への部品供給取引の会計処理及び滞留債権に対する貸倒引当金の計上不足、並びに当該修正に伴う個別財務諸表における貸倒引当金の計上不足について当社の会計監査法人から指摘を受け、すべて修正しております。これらの要因は取引実態及び会計基準に基づく会計処理の検討が十分になされなかったためであり、決算・財務報告プロセスの不備を原因とするものであり、開示すべき重要な不備に該当すると判断しております。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

当事業年度の財務諸表及び連結財務諸表を作成した後、当社の監査人から指摘を受けたため、事業年度の末日までに是正措置が完了できませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備を是正するため、組織体制や関連部門間の連絡体制を見直し、与信管理プロセスについても見直しを行う等、是正措置を推進しております。本件是正措置につきましては、継続的なモニタリングを行ってまいります。

4. 連結財務諸表に与える影響

上記不備に起因する必要な修正事項は連結財務諸表に反映しており、当事業年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

以上